

令和4年2月9日

府政運営の基本方針 2022

第1 基本方針

1. 基本的な考え方
2. 政策創造の方向性（重点的に取り組む分野）
3. 行財政改革

第2 知事重点事業

「府政運営の基本方針」とは…

大阪府がめざす将来像の実現に向け、「政策創造（重点的に取り組む分野）」や「行財政改革」等に関し、全庁統一の視点により翌年度において取り組むべき府政の大きな方向性を示すもの。

第1 基本方針

1. 基本的な考え方

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症から府民の命とくらしを守り、社会経済活動を回復させることに加え、2025年大阪・関西万博に向けて再び大阪を成長軌道に乗せる重要な年。

コロナ対策は、新たな変異株であるオミクロン株が急拡大するなど、いまだ終息は見通せず、今後もウイルスとの共存が必要。府民の命と健康を守るため、引き続き、感染症対策に万全を期す。ワクチンの追加接種を進めるとともに、早期治療体制の拡充や必要病床の確保など、医療・療養体制を充実する。加えて、安心して飲食できる場づくりなど、感染拡大防止対策を徹底する。

コロナ禍の長期化により、社会経済は大きな打撃を受けており、府民のくらしが不安定なものとなっている。大阪経済の回復に全力を注ぎ、観光・文化・飲食など特に影響を受けた事業者への支援や消費喚起策を進める。あわせて、DX（デジタルトランスフォーメーション）人材の育成をはじめ求職者の再就職に向けた取組みを強化することで悪化した雇用環境の改善を図るとともに、テレワークなどの新たな働き方を支援する。

また、未来を担う子どもたちをはじめ、全ての府民のくらしを支えるセーフティネットの充実を図る。自殺や児童虐待への対応を強化するとともに、ヤングケアラーといった新たな課題にも取り組む。学校教育においては、ICTの有効な活用などにより、緊急時の学習機会の保障と児童生徒の状況に応じた学びを実現するなど、子どもたちを支える環境の充実を図る。

このようなコロナ対策を着実に進めながら、ポストコロナを見据え、成長のけん引役となる万博とIRをインパクトに、「世界の中で躍動し、成長し続ける大阪」の実現に向けた取組みを加速させる。

3年後に迫った万博の成功に向け、大阪パビリオンやインフラ整備、関空の機能強化といった準備を着実に推進するとともに、IRの開業に向けた取組みを進める。あわせて、万博を一過性のものとせず、そのレガシーを活用し、大阪の強みである健康・医療関連産業や空飛ぶクルマなど、成長をけん引する産業の創出やカーボンニュートラルなど、世界の課題解決に取り組む、「SDGs先進都市」をめざす。加えて、スーパーシティによる大胆な規制改革を通じた先端的サービスの実装をはじめ、DXの推進により府民生活の質の向上をめざすスマートシティの具体化を進める。

さらなる飛躍に向けた新たな柱である「国際金融都市 OSAKA」の実現に向けて、金融系

外国企業・投資家等に対するプロモーション活動を展開するとともに、大阪全体のまちづくりの方向性を示す新しいグランドデザインの策定を通じて、府市一体で大阪の成長を加速させていく。また、ベイエリアを中心に一体的な生活圏、経済圏を形成する兵庫県と切磋琢磨し協調しながら連携を深めることで、関西の成長をリードしていく。

あわせて、住民に身近な市町村が、人口減少・超高齢社会の中においても持続的かつ安定的に住民サービスを提供できるよう、基礎自治機能の充実・強化に取り組んでいく。

こうした広域機能や基礎自治機能の充実・強化を進めることで、東西二極の一極として日本の成長をけん引し、府民が暮らしの豊かさを実感できる「副首都・大阪」の実現をめざす。

感染防止対策の徹底と社会経済活動の維持の両立を図り、直面するこの危機を乗り越えるとともに、ポストコロナを見据え、再び大阪を成長軌道に戻し、飛躍のステージに乗せていく。施策の推進にあたっては、市町村・企業・NPO等と引き続き、連携するとともに、積極的にサポートを行うなど、全ての関係者の力を結集し、取組みを進めていく。

2. 政策創造の方向性（重点的に取り組む分野）

令和4年度は、基本的な考え方に基づき、コロナ対策及びコロナ禍からの回復に向け、「命を守る最大限の感染症対策の推進」、「コロナ禍で打撃を受けた経済・産業の回復、雇用を支える取組みの推進」、「くらしを支えるセーフティネットの充実」を重点的に取り組むこととする。

あわせて、ポストコロナを見据え、「万博をインパクトにした大阪の成長・飛躍に向けた取組み」を加速させ、日本の成長をけん引する「副首都・大阪」の確立をめざす。

以上、4つの柱立てで、次の重点的に取り組む分野を設定し、全庁一丸となって政策創造を図る。

なお、今後の感染拡大や経済の状況等に応じて、必要な対策を機動的に講じていく。

（1）命を守る最大限の感染症対策の推進

- 検査、医療・療養体制の確保
- 感染拡大防止の取組みの徹底

（2）コロナ禍で打撃を受けた経済・産業の回復、雇用を支える取組みの推進

- 経済の力強い回復に向けた取組みの推進
- 雇用を守る取組み強化と新たな働き方への対応促進

（3）くらしを支えるセーフティネットの充実

- 府民の生活・心身の健康を支える取組みの充実
- 子どもたちの健やかな成長と学びを支える環境の充実

（4）万博をインパクトにした大阪の成長・飛躍に向けた取組みの加速

- 成長をけん引する産業の創出、イノベーションの促進
- スマートシティ化の推進による府民生活の質の向上に向けた取組みの加速
- 万博成功に向けた準備、IR 開業に向けた取組みの推進
- SDG s 先進都市をめざす取組みの加速
- 国際金融都市の実現に向けた取組みの加速
- 大阪のポテンシャルを活かした魅力あるまちづくりの推進
- 自然災害の教訓を踏まえた災害対応力強化

3. 行財政改革

財政規律を堅持しつつ、府民・企業・市町村・国との連携を深め、社会全体で課題解決する「起点」としての役割を果たすなど、「組み換え（シフト）」と「強みを束ねる」を改革の視点として、「令和4年度大阪府行政経営の取組み」に基づき、自律的で創造性を発揮する行財政運営体制の確立を図る。

（1）健全で規律ある財政運営の実現

◇令和4年度当初予算編成の基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症から府民の命とくらしを守り、社会経済活動を回復させることに加え、再び大阪を成長軌道に乗せ、飛躍させていくための施策に限られた財源の重点配分を行う。

引き続き、財政運営基本条例に基づき、将来世代に負担を先送りしないことを基本に、財政規律、計画性及び透明性の確保に取り組み、健全で規律ある財政運営を行っていく。

◇厳しい財政状況への対応

令和4年2月の「財政状況に関する中長期試算 [粗い試算]」では、景気の持ち直しの動きを背景に、府税収入が概ねコロナ前の水準に回復する見込みであるものの、減債基金の積立不足の復元やバブル後に大量発行した府債の最終償還の到来などがあり、今後も多額の収支不足額が続くと見込まれる。また、感染症による影響や原材料価格の動向等による景気の下振れリスクがあるなど、予断を許さない状況であることから、令和4年度当初予算に計上する財政調整基金の取崩しについては、年度を通じた効果的・効率的な予算執行により、その縮減に努める。

(2) 組織運営体制

◇自律的な改革を支える体制の構築

新たな課題に的確に対応し、最大のパフォーマンスを発揮することができるよう、求める人材を適切に確保するとともに、職員が働きやすい環境づくりを進め、女性職員を幅広い分野へ積極的に任用する。

また、再任用職員の短時間・フルタイム勤務の運用等、府庁の様々な人材を最大限活用することにより、必要な組織人員体制を整え、自律的な改革を進める。

◇働き方改革の実現

大阪府庁版「働き方改革」を踏まえ、フレックスタイム制度の活用など柔軟な働き方の浸透を図るとともに、長時間労働の是正などに一層取り組み、働く職員の心身の健康確保・ワークライフバランス・女性活躍の促進等を図る。

◇令和4年度の組織体制と人員編成

全庁横断的に大阪の成長に取り組むための成長戦略局の設置、基礎自治機能の充実を図るための市町村局の設置、子どもや青少年をとりまく多様な課題により一体的に取り組むための子ども家庭局の設置、安全・安心の確保をより一体的に推進するための都市整備部と建築部の統合など、府政の重要課題に適切に対応するとともに、効率的かつ効果的な行政運営を図るため、必要な組織体制の整備を行う。

人員編成については、事務事業の見直しや事務の効率化等による組織のスリム化に努めつつ、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする安全・安心の確保に向けた取り組みや緊急かつ重要な行政需要に適切に対応していくことができるよう、重点的に人員を配置していく。

第2 知事重点事業

「第1 基本方針」に基づき、以下のとおり知事重点事業を進める。

「新規」：令和4年度から新たに位置付ける事業（前年度からの継続事業のうち、施策の再構築等により新たな段階に移行する継続事業を含む。）

「継続」：前年度から継続して位置付ける事業

以下の表中、太字は「新規」の知事重点事業をさす。

（1）命を守る最大限の感染症対策の推進

府民の命と健康を守るため、ワクチン3回目接種に向けた体制の確保に取り組むとともに、変異株の感染拡大により感染者が過去最大になる中、引き続き相談、検査体制の整備・充実を図るほか、自宅待機SOSの運用などにより、自宅療養者への支援を行う。また、重症化を予防するための抗体治療等初期治療体制の整備や病床確保・宿泊療養の強化にあわせ、大阪コロナ大規模医療・療養センターの運営など、災害級の非常事態にも備え、医療・療養体制の確保に万全を期す。

加えて、福祉施設における感染防止対策や感染防止認証ゴールドステッカーの実効性を確保し、安心して飲食ができる環境づくりを進めるなど、感染症に強いまちづくりに向けた取組みを推進する。

○ 検査、医療・療養体制の確保

- ・ワクチン接種体制の確保
- ・相談・検査体制の整備・充実
（自宅待機SOSの運営、無料検査の実施等）
- ・医療・療養体制の確保
（病床確保、療養者支援、初期治療体制の整備等）

○ 感染拡大防止の取組みの徹底

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策事業
（飲食店における感染防止第三者認証、見回り調査等）
- ・福祉施設における感染防止策の推進
（介護施設等の個室化改修、簡易陰圧装置・換気設備の設置、衛生用品購入等の補助、応援職員派遣体制の整備等）
- ・大阪公立大学感染症研究推進事業

(2) コロナ禍で打撃を受けた経済・産業の回復、雇用を支える取組みの推進

コロナ禍で打撃を受けている事業者の資金繰りを下支えするため、コロナ関連融資を引き続き実施する。また、大きく影響を受けている府内観光事業者や商店街、文化芸術活動への支援に取り組む。さらに、ポストコロナを見据え、事業転換や新たな事業にチャレンジする中小企業への伴走支援を進めるなど、経済の回復を図る。

コロナによる失業の長期化を防ぐため、民間人材サービス事業者と連携して緊急雇用対策を継続するとともに、DX 人材の活躍に向けて総合的に支援するなど、雇用を守る取組み強化と新たな働き方への対応を促進する。

○ 経済の力強い回復に向けた取組みの推進

- ・国内旅行観光消費喚起事業
- ・商店街等活性化事業
(魅力向上支援、需要喚起等)
- ・大阪文化芸術創出事業
- ・新事業展開チャレンジ支援事業
- ・中小企業のDX支援事業
- ・中小企業向け制度融資
(新型コロナウイルス感染症関連融資)

○ 雇用を守る取組み強化と新たな働き方への対応促進

- ・民間人材サービス事業者と連携した緊急雇用対策事業
- ・DX人材活躍推進事業
- ・電子契約システム運用事業

(3) 暮らしを支えるセーフティネットの充実

暮らしへの影響が長期化する中、コロナ禍で不安を抱える女性のための相談体制を充実・強化するとともに、相談・自殺予防啓発の実施による若年層への自殺対策や高齢者等の居住安定の確保など、府民の生活・心身の健康を支える取組みを充実させる。

子どもたちの健やかな成長を促すため、児童虐待における市町村の対応力向上、新たな課題であるヤングケアラーの早期発見、支援につなげるための相談体制の構築、子ども食堂への食材購入支援などに取り組む。また、子どもたちの学びを支えるため、1人1台端末を活用したスマートスクールを推進するとともに、私立高等学校等の授業料無償化の実施など、学習環境の充実を図る。

○ 府民の生活・心身の健康を支える取組みの充実

- ・**居住安定確保促進事業**
(住宅確保要配慮者に対する支援体制の構築)
- ・**女性のための相談・支援事業**
- ・**自殺対策強化事業**
(若年者層向け SNS 相談体制整備、若者ハートサポートプロジェクト)
- ・依存症対策強化事業
- ・**地域を基盤とした包括的な支援体制の整備促進**
(地域活動モデルの開発、包括的支援体制の構築)
- ・NPO 等社会課題解決活動支援事業
- ・インターネット上の人権侵害の解消推進事業
- ・障がい者雇用に向けた企業の取組促進事業
- ・外国人の受入環境整備
(相談窓口、医療体制の整備等)
- ・がん・肝炎対策の拡充・強化
- ・**総合的な感染症対策の充実・強化事業**
- ・**新型インフルエンザ対策事業**
(抗インフルエンザウイルス薬等の備蓄)

○ 子どもたちの健やかな成長と学びを支える環境の充実

- ・**スマートスクール推進事業**
(1 人 1 台端末の安定的運用等)
- ・**日本語指導推進事業**
(小中学校オンライン日本語指導等)
- ・**大阪市立高等学校一元化関連事業**
- ・私立高等学校等生徒授業料支援補助
- ・大阪公立大学等授業料等支援事業
- ・**子どもの貧困対策事業**
(子ども食堂における食の支援等)
- ・**弱視児・難聴児早期発見・療育推進事業**
(屈折検査導入支援等)
- ・スクールカウンセラー配置事業
- ・**ヤングケアラーへの支援体制強化**
(社会的認知度向上、学校における相談体制構築等)

- ・医療的ケア児支援事業
(通学支援、地域ケアシステムの整備)
- ・児童虐待対応の拡充・強化
(SNS を活用した相談、市町村の対応力向上支援等)
- ・里親委託推進事業
- ・SNS 等に起因した青少年の被害防止対策事業

(4) 万博をインパクトにした大阪の成長・飛躍に向けた取組みの加速

万博を一過性のイベントとすることなく、そのインパクトを最大限に活用し、ポストコロナの大阪の成長を加速させるため、大阪の強みである健康医療関連産業の世界的クラスターの形成や、スタートアップ・エコシステムの構築、空飛ぶクルマの実現に向けた取組みなど、成長をけん引する産業やイノベーションの創出を図る。あわせて、新たな成長シーズの発掘に向けた調査検討や令和4年4月に開学する大阪公立大学における産学官共創など、さらなる成長に向けた取組みを進める。

加えて、府民生活の質の向上を図るため、デジタル端末を活用した高齢者の健康で便利な生活をめざす取組みや移動ニーズにきめ細やかに対応するA I オンデマンド交通の普及など、スマートシティ化の実現を進める。

また、万博開催に向け、大阪パビリオンやインフラ整備といった準備を着実に進めるとともに、環境配慮型バスの普及促進など脱炭素化に向けた取組みやユニバーサルデザインタクシーの導入など、万博の理念であるSDGsの実現をめざす。

国際金融都市の実現に向けては、アジア・世界に大阪のビジネス魅力等を発信するとともに、金融系外国企業・投資家等誘致やスタートアップの創出に注力する。

さらに、世界中から新たに人・モノ・投資を呼び込む成長型IRの開業に向けた準備を進めるとともに、新しいグランドデザインの策定など大阪のポテンシャルを活かした魅力あるまちづくりを推進する。

あわせて、これまでの自然災害の教訓を踏まえ、国土強靱化を図るため、地域防災力の向上や洪水・土砂対策、ため池の防災・減災対策、密集市街地対策など、災害対応力の強化に引き続き取り組む。

○ 成長をけん引する産業の創出、イノベーションの促進

- ・健康医療関連産業の世界的クラスター形成
(北大阪健康医療都市の形成推進、ライフサイエンス・再生医療の推進)
- ・スタートアップ・エコシステムの構築に向けた取組み
(資金調達の促進、海外スタートアップの誘致等)
- ・大阪公立大学「イノベーション・アカデミー構想」推進事業
- ・空飛ぶクルマの実用化に向けた取組み
(社会実装に向けた調査、実証実験補助)
- ・カーボンニュートラルに向けた産業創出
(脱炭素化支援、技術開発・実証実験補助等)
- ・外国人材の受入促進
(マッチングプラットフォームの構築等)
- ・農業の担い手創出・経営力強化事業
- ・中小企業のDX支援事業【再掲】
- ・成長戦略推進事業

○ スマートシティ化の推進による府民生活の質の向上に向けた取組みの加速

- ・大阪広域データ連携基盤整備事業
- ・大阪デジタル改革推進体制検討調査事業
- ・スマートシニアライフ事業
- ・AIオンデマンド交通先行モデル構築事業
- ・公共交通 MaaS 促進事業
- ・スーパーシティ推進事業
- ・公民共同スマートシティ推進事業
- ・行政手続きオンライン化推進事業
- ・市町村デジタル化支援事業

○ 万博成功に向けた準備、IR 開業に向けた取組みの推進

- ・2025年日本国際博覧会推進事業
- ・環境配慮型バス普及促進事業
- ・ユニバーサルデザインタクシー普及促進事業
- ・公共交通 MaaS 促進事業【再掲】
- ・万博に向けたカーボンニュートラルへの加速
(ゼロエミッション車普及促進、充電インフラ拡充、技術開発・実証実験補助)

- ・**いのち輝く未来社会をめざすビジョン推進事業**
(10歳若返りプロジェクトの推進等)
- ・**大阪産(もん)の活用拡大支援事業**
- ・**再生医療万博連携推進事業**
- ・おおさか健活10推進プロジェクト事業
- ・健康づくり支援プラットフォーム整備等事業
- ・市町村国保予防・健康づくり支援の強化
- ・受動喫煙防止対策推進事業
- ・淀川大堰閘門設置事業
- ・**海上交通社会実験事業**
- ・自転車通行環境整備事業
- ・鉄道駅・ホテル等のバリアフリー化
- ・I R事業化推進事業

○ SDG s 先進都市をめざす取組みの加速

- ・SDGs 推進事業
- ・**カーボンニュートラルの実現**
(消費行動促進インセンティブの検討等)
- ・都市緑化を活用した猛暑対策事業
- ・プラスチックごみ対策の推進
- ・**ユニバーサルデザインタクシー普及促進事業【再掲】**
- ・おおさか健活10推進プロジェクト事業【再掲】
- ・健康づくり支援プラットフォーム整備等事業【再掲】
- ・市町村国保予防・健康づくり支援の強化【再掲】
- ・受動喫煙防止対策推進事業【再掲】
- ・大阪ええまちプロジェクト事業

○ 国際金融都市の実現に向けた取組みの加速

- ・**国際金融都市推進事業**
(金融系外国企業等の進出支援等)

○ 大阪のポテンシャルを活かした魅力あるまちづくりの推進

・グランドデザインの推進

(新しいグランドデザインの策定、

新大阪駅周辺・大阪城東部・夢洲、ベイエリアのまちづくり)

・うめきたまちづくり推進事業

・道路・鉄道・海上ネットワークの整備

(淀川左岸線2期・延伸部・なにわ筋線・大阪モノレール延伸、

海上交通社会実験)

・港湾の国際競争力強化事業

・万博記念公園駅前周辺地区活性化事業

・新大学学舎整備事業

○ 自然災害の教訓を踏まえた災害対応力強化

・市町村支援・地域防災力強化事業

(災害ボランティアに係る体制強化等)

・避難行動の支援

(土砂災害・水害)

・ため池防災・減災対策の拡充・強化

・森林防災・減災対策事業

・三大水門の更新

・防潮堤液状化対策

(津波・高潮対策)

・密集住宅市街地整備促進事業

・建築物震災対策推進事業

・災害医療機関施設整備事業